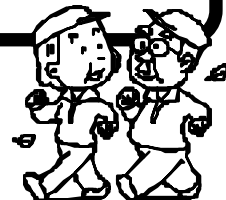
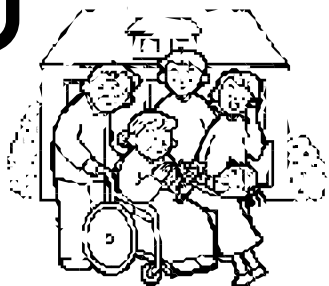


ヘルプーステーションだいとう だより

No.3 2003年10月発行



ケアマネのつぶやき

ケアプランだいとう

ケアマネージャー 金山 初枝

「おはようございます。」一人暮らしの介護度1 Aさん宅を、朝9時訪問。8時からヘルパーさんが活動中だ。「今日は食欲がなく胃が痛いようです。」ヘルパーさんの傍らで「大丈夫」と言いながら何とも浮かない顔のAさん。血圧を測ったり、昨日からの様子をお聞きし、主治医と訪問看護師の報告。この方との関わりはもう2年になる。ベッドと訪問介護に、限度額の大部分を利用されている。今日の訪問は、朝食の準備はどの程度ご自分で可能かなど、お聞きしたいと伺ったはずだった。息子さん御夫婦の訪問以外は他との交流が殆ど無く、テレビを見たり雑誌に目を通したりの生活をされている。何度かデイサービスの利用も提案するが「私は今の生活が一番」と言う笑顔が、妙に説得力があり、今日はまた「胃痛」に完敗。

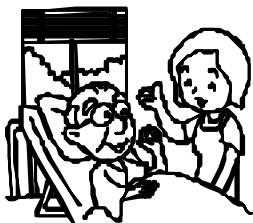
続いて、一人暮らしで同じ介護度のBさんを訪問。訪問介護と週1回の通所介護(デイサービス)を利用。その人間模様や楽しさと共に、手作りの作品の成果を披露していただく。

生活歴、病歴、性格や家族との関係等の違いでいろんな生活があるのは当然だ。介護保険を利用する人しない人それも自由だ。

けれど、最期の時を迎える日まで笑顔が多いほど、出来れば人の心を動かす笑顔が出る人であって欲しい。そんな思いでいつもお手伝いをさせていただいている。

ケアマネージャー(介護支援専門員)と言う新種の職業に従事させていただき、あっという間に3年半が経った。介護保険制度そのものが見切り発進で、その制度の要だとか言われて調子によって今まで走り続けてきたような気がする。

ケアマネージャーに求められる課題は多く難問もある。しかし、その人らしい笑顔に出会えるようなケアプランを作るお手伝いをこれからもしていきたいと思う。この仕事が好きだから。



ヘルパーミーティング

— 6月・7月ミーティングより —

今回の勉強会では、食事・排泄介助の時に困った事について、ヘルパー同士がグループワークを行いました。

食事介助

嚥下が悪く、むせ込む事がある

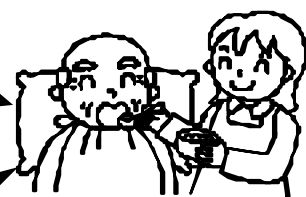


飲み込みやすいように汁物などはトロミをつけたりしている

野菜などは小さく切り、やわらかく煮たりしている

ベッドの上では、体を起こして、食べやすい姿勢を心掛けています

利用者のペースに合わせて介助を行っている



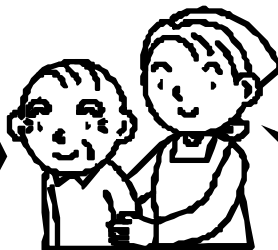
排泄介助

ポータブルトイレでの移乗・移動の際に転倒しそうになる



利用者の動きを観察し十分な注意を払っている

介助時には常に声かけを行い呼吸を合わせるようにしている



お掃除ポイント



ベッドの下は、水をしみ込ませた新聞紙をベッドの下に敷きます。新聞紙を取り出した後、柄の長いモップで拭き取ればベッドを動かさず、ほこりも舞う事なくきれいにする事ができます。

タンスの中や床下に、除湿・脱臭作用のある炭を入れておくと建物の湿気や嫌な臭い、有害物質などを炭が吸収してくれます。新聞紙も除湿効果がありインクの付着に気をつけて引出しの中敷きとしてもよいでしょう。

冷蔵庫の下や後ろなどの隙間はストッキングの切れ端をほうきなどにかぶせます。ストッキングの静電気がほこりを吸着します。

ヘルパーからの一言



介護業務に携わり5年余りの月日が流れ今日に至ります。その間に、多くの方々とふれあい、自分自身の中に忘れかけていたぬくもり、思いやり、いたわりの心を学ばせていただきました事を心に刻み、今後も、ライフステージに受け入れていただいている事の喜びを感じながら、日々努力、精進を心掛け、穏やかに日々天職に勤しんでまいりたいと思っております。

ヘルパー村瀬綾子

ステーションが始まってあっという間に月日が過ぎ、振り返って見れば3年もの歳月が経ちました。当初は、利用者様とうまく接する事もままならなかったのですが、周りの人達にも助けられ、思えば、何も出来なかった頃の自分に、悔いばかりが残ります。今は、仕事にも多少ゆとりが出来た今日この頃です。

今後も、利用者様のかゆい所に手が届くような介護を目指し、日々前進して頑張っていきたいと思っています。

ヘルパー金谷泉

ヘルパーとしてこちらで仕事をさせていただいたこの3年は、色々な事を考えた日々でした。高齢になるという事、介護という事、ヘルパーとは？まだまだ自信の持てない事ばかりです。

高齢になって身体が思うように動かない方、病気を持っておられる方、一人暮らしの方が、「ずっとこの家で暮らしていきたい」と言われる気持ちがとてもよくわかります。きっと私もそう思うでしょう。

利用者の方の日々の生活を理解した上での支援ができるよう、基本理念「その人がその人らしくあることを守ります」この言葉を心において、続けていきます。

ヘルパー井上香代子

ヒヤリ・ハッと!

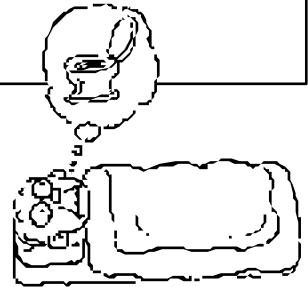


おむつ交換・清拭後・・・

ほとんど寝たきりの方で、おむつ交換・清拭が終わり、ベッドを腰の位置まで上げていたので下に降ろした。その時、ガタンと大きな音が部屋中に響き、何の音かわからなかった。

アルミのゴミ箱が横に転んでいたの、ベッドを降ろした時に当たり、壊れる事は無かったのですが、滑ったため大きな音がしたようです。

ベッドの上げ下げをする時は、周りの物を片付けておく必要があります。



おむつ介助時・・・

パンツからおむつに交換の時、陰部洗浄が終わりパンツを取っておむつをつけていると、尿が出てしまってシーツまで濡れてしまった。

最後までパットかフラットを取らずに当てるようにしましょう。

「ヘルパーステーションだいとう
ヒヤリ・ハッと集」より



伝言板



秋の収穫の稲刈りが終わり、冬の身支度が必要になってきます。徐々に朝晩の冷え込みが厳しくなってきますので、風邪等には気を付けて下さい。

今回掲載に御協力下さいました方々、ありがとうございました。

今後もたくさんの事を掲載していきたいと思っておりますので、御協力の程よろしくお願ひします。



・ 私たちの基本理念 ・

私たちは日常生活の支援を通してその人がその人らしくあることを守ります。

ヘルパーステーションだいとう



〒670-0962

姫路市南駅前町66番地 戸田ビル2階

TEL 0792-23-5009

FAX 0792-23-5019

介護保険事業所番号 2874000876